



# 岩江中だより

第 18 号

発行日：平成28年9月14日  
発行：三春町立岩江中学校  
電話：0247-62-8290  
FAX：0247-62-8380  
E-mail：iwae-j@fcs.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに、たくましく』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～

## 【落ち着いた生活を！ ～一つ一つの活動を、心を込めて、丁寧に。～】

下の写真は最近の保健室脇の男子トイレのスリッパです。夏休み明け、日々の授業や学校行事の他、各種大会、コンクール、実力テスト、文化祭など、さまざまな取り組みを111人の子どもたちはこなさなければなりません。何にでも一生懸命取り組もうとする子どもたちにとって、何かと落ち着かない時期が今の時期かと思えます。

そんな今だからこそ、先生方には以下のようなお話をいたしました。



『やらなくてはならない時にできる生徒づくりのための教職員自身の研修』を。

～一流の生徒を育てる一流の教職員となるために～

### 1 学力向上

- (1) 言語活動の充実 ～全教育活動場面において取り入れる～  
思考力・判断力・表現力を育てることにより『活用力』をアップさせる。
- (2) 「繰り返し」と「積み重ね」 ～各教科・各学年～  
各教科・各学年に応じた補充学習を実施する。
- (3) 学習の絶対量の確保 ～各教科・各学年、家庭との連携～  
小・中連携の確認事項『学年+1時間』の実施を家庭と連携し推進する。
- (4) 提出物の完全提出の徹底 ～各教科・各学年、家庭との連携～  
形はともかく、落としどころをきめながら、最後の一人まで出させる。
- (5) 効果的なノーディスプレイの推進 ～生徒指導委員会、家庭との連携～  
最も有効なノーディスプレイ運動について検討し、実践する。

### 2 集団づくり・いじめ防止

- (1) リーダー・フォロアーの育成 ～各教科・各学年～  
誰もがリーダーにはなれず、指導しなければフォロアーは育たないことを肝に銘じ、学級・学年・学校のリーダーづくりに取り組んでいく。
- (2) 『私にはこれがある』の醸成 ～全教育活動場面において実施～  
自尊感情『私にはこれがある』は、思いやりの心の行動化やいじめ防止の土台となる。挑戦の場をできるだけすべての生徒に準備してやる。
- (3) 『違い』の尊重とその集合体としての望ましい集団づくり  
グループエンカウンター等の手法を取り入れながら、一人ひとりのかけがえのなさ、一人ではない自分、生かされている自分というものを実感させる時間と場を体験させる。

### 3 道徳教育

- (1) 実践化を視野に入れた考える道徳 ～全教育活動場面、道徳の授業において～  
各教科や領域など、全教育活動の場で、『言語活動の充実』を図り、考え、語り合い、高め合える集団の中で道徳の授業を推進する。

## (2) 『行動の記録』 記入の時間と場の確保と積極的推進 ～全教育活動場面において～

随時ではなく、『行動の記録』 記入のための時間と場を確保し、相互に、個の見つめ方やよさのを見つけ方について学び合う機会ともする。また、記述されたものは教育相談等で必ずフィードバックし、生徒の自尊感情『私にはこれがある』につなげる。



上の写真は早朝の校舎内の様子です。2階通路、数学講義室、2年オープンスペース、食堂です。その日は朝から子どもたちが気持ちよく学ぶには蒸し暑い気温でした。教科教室型の校舎の本校では、教頭先生はじめ、その教室の先生方は、子どもたちが朝から気持ちよく学べるようにと、出勤後、すぐに教室に向かい、部屋の換気のため窓の開放をいたします。学びの環境づくりに心を込めて取り組む先生方です。今やらなければならない一つ一つの活動を、心を込めて、丁寧にこなしていきましょう。



## 【日々、学び、成長しています！ ～さまざまな出会いから成長する中学生～】

日々の学習や人との関わりの中で、子どもたちはさまざまなことを学び、成長していています。今回、『社会を明るくする運動』の取り組みの一つである作文コンクールの生徒作品を読ませていただきました。社会からいじめをなくすためには何が大切かについて考え、調べ活動に取り組み、自分なりに答えを出したことは、という作文でした。一人の女子生徒の心の成長が読み取れるすばらしい作品です。その概要をお知らせいたします。この中学生はこうして「書くこと」で大人へと成長していきます。



「明るい社会づくり」のために

岩江中三年女子

私が「明るい社会づくり」というこの作文を書こうと思った理由は、この作文をとおして、社会から「いじめ」をなくしたいという思いを伝えたかったからです。

学校でも職場でも、「いじめ」は存在すると思います。岩江中学校はいじめがなく、平和ですが、ニュース報道を見ると、「いじめ」によりつらい思いをしている人がたくさんいることを知ります。そこで私は、この社会から「いじめ」をなくし、「明るい社会づくり」をするために何をすればいいのか考えてみたいと思います。

～これ以降、関心をもって調べた内容が詳しく書かれています。～

私は、この作文『明るい社会づくり』のために、を書いてためになったことがあります。明るい社会にするためには、「先入観」「偏見」「差別」などのもととなるものに目をむけていかななくてはならないのではないかとのことです。「自分はだめなんだ。」という考え方です。現実から逃げ、自分を嫌いになる自分、その裏返しの心をしっかりともてるようになることが、「差別」「偏見」「先入観」の克服につながると思います。自分に今できること、そこから少しずつ取り組み、互いの「違い」を認め、大切にしていけることが大事なんだと改めて考えました。